



やまゆり

学校だより

令和5年7月19日
31号
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」 一気づき・考え・実行する一
校内研究重点 「WEBQUを活用し、学級の安定と活性化を図る」

夏休みに適えるべき目的・目標

- 1 「心身共に安全に過ごす」
- 2 「基本的な生活習慣を維持・向上する」
- 3 「自分の目標を、自分で達成する」
- 4 「家族や地域の一員として貢献する」

学校教育目標 「社会に貢献し、自立する生徒の育成」

現在の「社会」は、グローバル化の中で先行き不透明な時代とされています。具体的には、新型コロナウイルスによる禍^{わざわい}・世界での紛争・戦争、異常気象による災害、白昼堂々の凶悪事件等が挙げられます。

現代の混迷の社会はまさに、アフリカ等のサバンナを生き残る動物たちにも通ずる世界だと考えられます。このような危険度の高い社会で生徒が自分で考え、自分で判断して生きていくためには、「自立」を考えた指導がとても重要であると考えます。これから始まる夏休みは、非常に危険度の高い期間であり、生徒が適切に判断し、行動するための「自立」を育む必要性を確認したいと思います。

1 「危険を予測し、自ら回避する力の育成」

交通事故・水の事故などに気をつけ、32日後に笑顔で会いましょう。

「死」は、人生の先にあるものではなく「生きている今と隣り合わせにある」ものです。だから、不慮の事態は突然やってきます。

この夏休みの一番大事なことは、自分の命を自分で管理すること。自分の命を管理できるのは、自分だけです。心身の健康を維持し、命を守ることは最優先で考えなくて

はなりません。

人は死んでしまえば、ゼロになる、無くなる、無になると思っている人はいないでしょうか。考えてほしいのは、「命は人との関係（横軸）で成り立っている」という視点です。人間は「感情の生き物」とも呼ばれるそうですが、誰かの死は、残された者に大きな影響を与えます。みなさんは、家族の中で生きています。これから結婚式を迎えるカップルの命が輝き、強い力を持っているのは愛による「人間関係の横軸の命の強さ」でもあります。

また、命は未来という縦軸によって、成り立ってもいます。先ほどのカップルの例で言えば、結婚後の幸せな生活である「未来の時間の縦軸」が命を強く支えています。生徒の皆さんの場合には、高校や大学、社会での活躍が挙げられると思います。

以上のように、より良い家族・友人関係、そして将来への期待感からも自分の命について考え、守り抜く決意を持ちましょう。

学校では登下校を含め、多くの教職員によって安全が守られています。しかし、夏休みは、自分の命を自分で守らなければなりません。そのうえ、交通量が激増し、水の事故も多発します。今まで通り、コロナ対策もインフルエンザ対策も必要です。さらには、SNSによる詐欺の情報も、私たちが狙っています。

「もうすぐ夏休み」という開放感の中で、「危機は確実に迫っている」ことを自覚しましょう。

サバンナの中を生きる動物にとっても、人間にとっても、一番重要なのは「危険を予測し、自ら回避する力」です。

身の守り方を調べ、教わり、相談し、自分の力で危険を回避できるようにしましょう。

追 記

○疲れたところをゆったりさせる、そして回復する絶好の機会です。海や山の自然の中にとると特に心が癒やされます。例 海で浮き輪に入り、青い空を見上げながら浮かんでいる

○虫歯や体に違和感がある場合は、病院で受診して改善・完治させる絶好の機会です。

2 生活習慣の乱れは、「心や生活・成績の乱れ」にも直結します。

早寝・早起き・朝ご飯。ラジオ体操の活用も考えてみましょう。

規則正しい生活習慣のために、例として「ラジオ体操」の活用を紹介します。

朝、自分の目覚まし時計で起き、自分の好きな場所を決めて毎日一定の時間で体操をします。全国のどこかで、この同じ空の下で、同じように体操をしている人たちがいることに喜びを感じ、まだ見ぬ街を思い浮かべることができます。

道志から見える空も、世界の空とつながっています。犬を飼っている人は、散歩するのも良いと思います。自分が犬に必要とされている実感を持てます。そして、自然の中で植物が成長している様子・空・雲・光・花など「美しい」と感じる時間は本当に豊かです。

豊かさとは、様々な生き物がともに生きていることです。散歩の途中に雷雨に遭い、犬と一緒にびしょびしょになるのも悪くありません。雨にはにおいがあります。また、降りしきる雨の風景も夏でなければ味わえないものです。

朝早く起きるためには、早く寝ることが大切です。朝日を浴びながら散歩すると体が起きます。散歩し、体操するとご飯を食べられます。午前中が長くなり、勉強も進みます。

また、部活動前に少しでも勉強すると、本気で部活動ができます。

※ 保護者の皆様へ

- 「寝る時間・起きる時間・勉強をする時間を一定にする」ことが成功の秘訣です。
- 「夏休みだから、いつまでも寝かしておけ・・・」は決してお子さんのためになりません。
- 適度なゲームやスマホは、気分転換として良いと思います。しかし、ゲーム依存の心配もあります。実際、ゲームのやり過ぎは「学びの逃避に繋がり、学校生活を困難」にします。
- 学校では、計画表を作成する指導をしています。勉強やお手伝いも、言われてやるのと、自らするのは全く違います。結果ではなく、主体的に自分で考えて行動する言葉かけや指導をお願い致します。

3 「自分の目標を、自分で達成する夏休み」

将来職業に就いて必要な力の中に、「学ぶ力」が挙げられます。何の仕事に就いても学ばなくて良い職業などありません。世界の情勢や環境の変化などに対応するために企業では、情報収集も含めて専門性を高めるための学習（研修）を行っています。

「学校の勉強は社会で役に立たない」、などという人もいますが、そんなことはありません。中学までの勉強は全ての職業の基本・土台となる学習です。

学びからの逃避は、目標を失い自分の成長を大きく阻害します。「東大生が大学に入学して一番良かったことは何か」という質問に一番多かった回答は、「自分が本気でやればここまでできることがわかったこと」だそうです。

「学ぶ意欲」の獲得。これが学校で身につける一番大切な力でもあります。

「期日までに、やらなければならないことをしっかりやりとげる」。これは、仕事そのものです。大学入試で「英語」を重視する理由も、国際化よりも、「やらなければならないことを根気よく努力し、結果を出す」ことが一番分かる教科だからとも言われています。

私も大学入試に英語を使いましたが、英語が話せなくても仕事はできます。しかし、目標を定め、「自ら計画し、取り組んで成果を出す力」は、人生において一番重要な力と言っても過言ではありません。

到達度テストの結果に満足している生徒は、ほんの少数でした。原因は、結果ではなく考え方や取り組み方、そしてミスの多さによる「実力を出し切れなかった事への後悔」です。

学校で立てた目標と計画を生かし、「人を頼りながらも」自分で成し遂げる力を育成する事が重要です。特に3年生は、志望校への可能性を広げる最後のチャンスと言っても過言ではありません。高校入学後に活躍できる力を発揮するにも、全く授業が進んでいない32日間をどのように考え、使うかを真剣に考え、実行しましょう。

夏休みは、「自分の力でやり遂げる力を向上させる絶好のチャンス」です。

4 「家族や地域の一員として貢献する」

「理想の家族」を言って見て下さい。その理想の家族を実現するために、あなたはどのような努力をしているか考えて見て下さい。「親が働くのは当たり前」と言っても、経済力が無ければ実際には生活は出来ません。現在ほどの仕事も楽ではなく、本当に働くことが大変な時代です。その上に、精神的な支えや衣・食・住・環境等も全て保護者や家族が調べてくれています。理想の家族像はもっていても、普段の生活ではしてもらふことばかりで、家族に貢献していることは少ないのではないのでしょうか。玄関掃除・風呂掃除・部屋の掃除・ゴミ出し・洗濯・買い物・料理・食器洗い等、家事は多岐にわたり本当に大変です。

夏休みに何か一つでも、理想の家族やより良い家族のためにできることをして下さい。そして、「家族や地域に貢献し、自立する人間に成長」しましょう。

5 特定の友人との「つるむ関係」も避ける

友人との携帯電話やメールを繰り返すことで、友人とつながっていると勘違いしている中学生も多いと思います。人との絆は、「会えない時間に濃く、深くなる」ものでもあります。「会えない時間が、愛育てるのさ・・・目をつむれば君がいる・・・」と郷ひろみも歌っていました。

多くの多様な友人とつき合うことによって、親しい人とさらに親しくなれるものです。